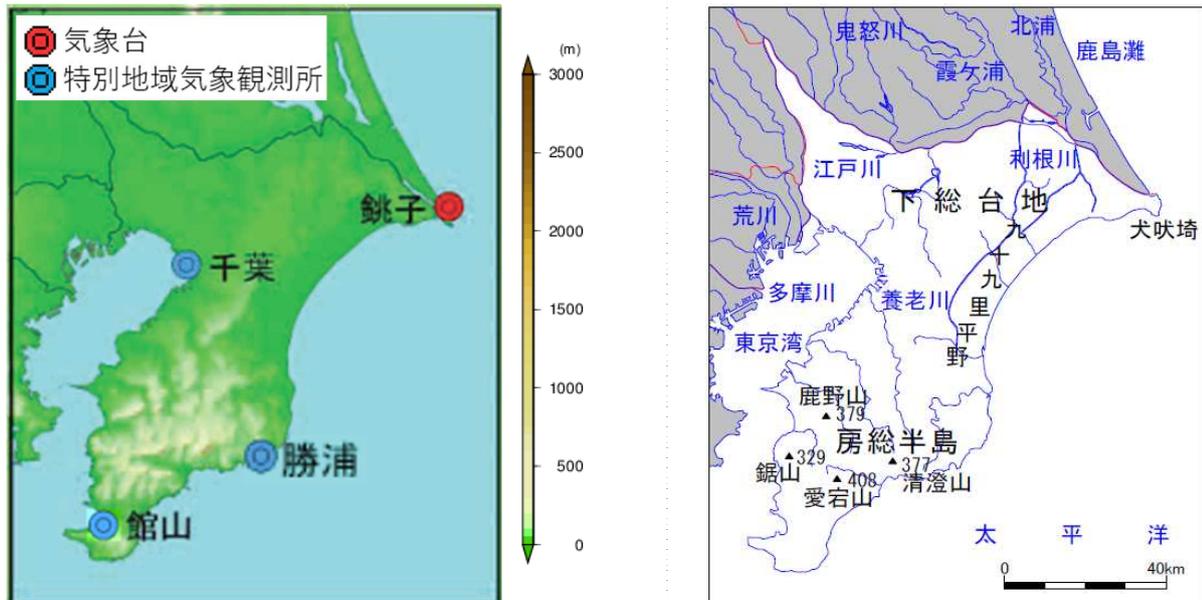


千葉県



千葉県の地勢

千葉県は本州中央部の東端にあって、東西に狭く南北に長く外海に突出する半島で、県の東と南は太平洋に面し、西は一部東京湾に臨んでいる。県の北西と北は江戸川・利根川を隔てて、東京都と埼玉県、茨城県に接しており、周囲を海と川に囲まれ、総面積は5,158km²(全国第28位)である。

地形は丘陵・台地・平野の三つに分かれ、房総半島の中央山間部は県内では比較的標高が高く、特に南部ではのこぎりやま鋸山・あたごやま愛宕山・きよすみやま清澄山・かのうざん鹿野山等の200~400m級の丘陵が連なっている。その中の最高峰は愛宕山(標高408.2m)であるため、千葉県は全国で唯一標高500m以上の土地が存在しない県となっている。

また、北部一帯には下総台地と呼ばれる関東ローム層で形成されたこうせき洪積台地が広がる一方、平野部は利根川流域平野と九十九里沿岸平野からなり、東京湾沿いの埋立地等の地域を含めると、低い土地は圧倒的な割合となる。

千葉県の気候

千葉県は標高差が小さく東西と南の三面を海に囲まれ、房総半島沖を黒潮が流れているため、年間を通して温暖な気候で、太平洋岸気候区に分類される。なお、台地では寒暖差がやや大きく、

内陸性気候の特徴をみせる一方、沿岸部では寒暖の差が小さく、比較的暖かな海洋性気候の特徴を持っている。

降水量は、南部では他の地域に比べて降水量が多く、特に南部丘陵地域付近の比較的狭い範囲で強い雨が降る。

梅雨の時期から夏にかけては、海霧が県北東部の沿岸域を中心に発生し、南部にかけての陸域に流入し、濃霧となることが多い。

地形データにはUSGS(アメリカ地質調査所)のGTOPO30を利用した。